

最後まで自分らしく生きるために



撮影：佐々木一郎さん（市民カメラマン）

▲大村さんの話に聞き入る参加者の皆さん

1月24日（火）、市民会館で「あるっく志木市民勉強会」が開催されました。

整理への気付きや実行、心身の健康を目的に、大村商事株式会社代表取締役の大村相哲^{おおむらそうてつ}さんを講師に迎え、住まいの安全を目指した上手な整理の仕方や健やかに暮らすための生前整理の仕方を学びました。

個性が光る作品展



撮影：松木進さん（市民カメラマン）



◀ペットボトルのキャップを使用した力作も展示されました

1月28日（土）、総合福祉センターで「第48回太陽展」を開催しました。

展示されている作品は、市内小・中学校特別支援学級の児童生徒とみつばすみれ学園の子どもたちが制作したもので、書初めや絵のほか、紙粘土で制作したものなど色鮮やかな作品が並び、訪れた人たちの目を楽しませました。

まちのできごと

有終の美を飾る演奏会



撮影：抜井俊さん（市民カメラマン）

▲カパルが指揮をとります

1月29日（日）、市民会館で「パルシティさよならコンサート」が開催されました。

3月をもって閉館した市民会館で、長年のご愛顧に感謝を込めて、市内及び近隣市を中心に活動する音楽団体が合唱や演奏を披露しました。

コンサート終盤にはカパールもサプライズ登場するなど、会場は大いに盛り上がりました。

ボールを使って楽しく運動をしよう



撮影：深澤祥紀さん（市民カメラマン）

▲次第に白熱する試合となりました

2月4日（土）、市民体育館で「個人参加型ドッジボール交流会」が開催されました。

参加した子どもたちは、キャッチボールを通してボールの投げ方やキャッチの仕方などの基本動作を学んだあと、ゲーム形式でドッジボールを楽しみました。

明日に向かってワン・ツー・スリー



撮影：賀城梢さん（市民カメラマン）

▲新たな出会いや活動のきっかけが生まれます

2月14日（火）、総合福祉センターで「アクティブシニア等社会参加支援事業」を開催しました。

活動仲間を募集している市民団体が新たな仲間との出会いを求めてブースを設置し、訪れた人へ活動紹介をするなど交流を深めました。

そのほか、ボランティア活動や求人情報の紹介も行われました。

練習の成果を発揮



撮影：猿田光彦さん（市民カメラマン）

▲約50団体の発表が行われました

2月19日（日）、市民会館で「第29回志木市芸能祭」を開催しました。

市内で芸能活動をしている皆さんの発表の場として3年ぶりに開催され、邦舞踊や箏曲などのほか、文化体験道場に参加した子どもたちによる発表や志木市華道連盟による生花の展示も行われました。



市Facebookでも、イベントで撮影した写真を掲載しています！

<https://www.facebook.com/shikicity>



①AppStoreまたはGooglePlayにて「COCOAR2」をインストール
②アプリを起動後、「AR動画」マークがある写真にカメラをかざしてください。

私たちが「今」できることを考える



撮影：赤羽創さん（市民カメラマン）

▲会場全体でリズムに乗って楽しみました

2月25日（土）、総合福祉センターで「地域共生社会を実現するためのふれあいフェスティバル」を開催しました。

年齢や障がいの有無に関わらず、参加する人がつながり、ふれあう場として、打楽器ワークショップや地域共生社会を実現するための基調講演が開催され、多様な人々と豊かな関係を築いていくためにできることを考える場となりました。

雛のつるし飾り



▲鯛や鶴、まりなどの雛が並びます

1月26日（木）から3月5日（日）まで、旧村山快哉堂で「雛のつるし飾り」が開催されました。

子どもの健やかな成長と幸福を祈り、快哉堂友の会の皆さんが制作したさまざまな種類の雛が飾られ、訪れた人たちは綺麗な光景をスマートフォンで撮影しながら楽しんでいました。